

財 政 状 況 の 公 表

令和 2 年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年 9 月 30 日



令和 2 年 11 月
宇 城 広 域 連 合

目 次

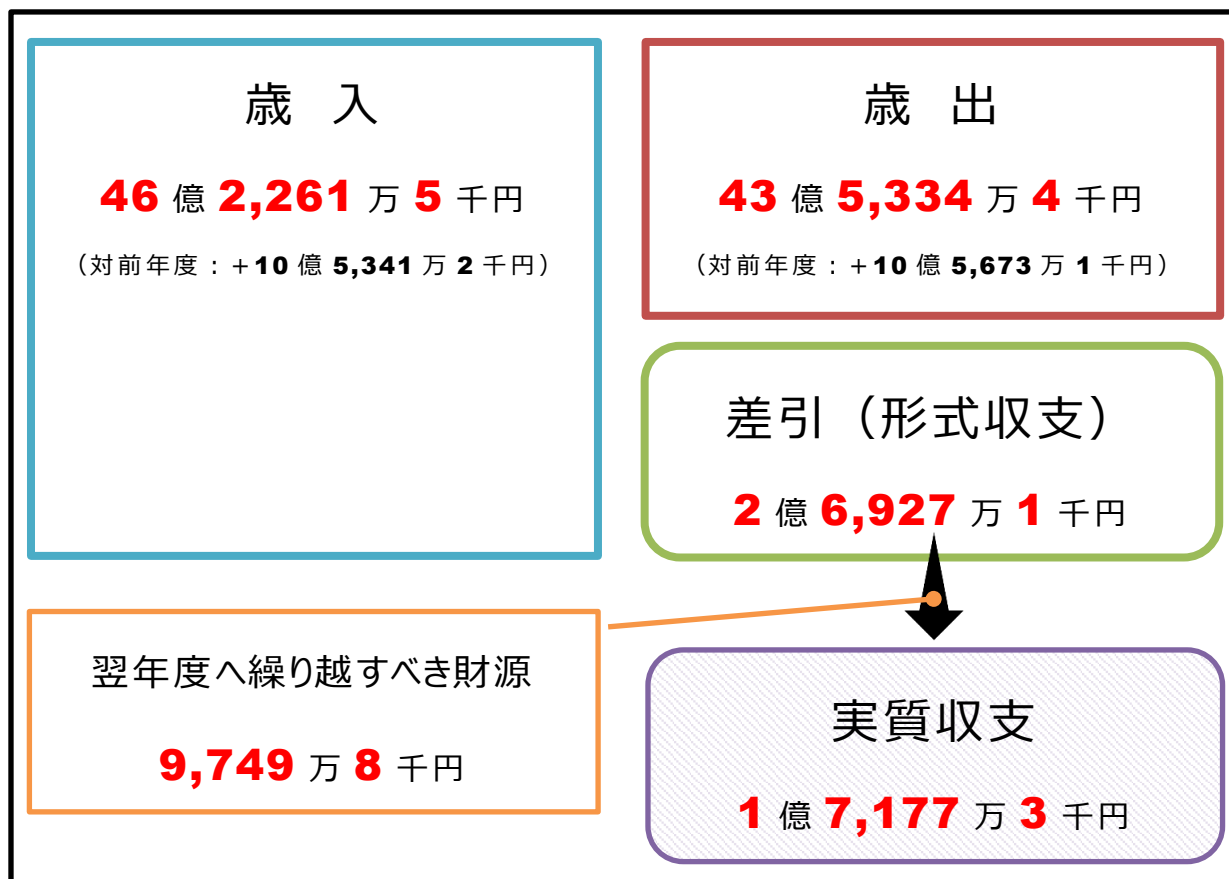
I 令和元年度決算の概要		
1 一般会計		
（１）決算収支	．．．．．	1
（２）歳入決算の内訳	．．．．．	2
（３）歳出決算の内訳	．．．．．	4
2 宇城ふるさと市町村圏基金特別会計		
（１）決算収支	．．．．．	6
（２）歳入決算の内訳	．．．．．	7
（３）歳出決算の内訳	．．．．．	7
II 統一的な基準による令和元年度財務書類		
1 財務書類	．．．．．	8
2 財務書類から算出される指標	．．．．．	10
III 令和２年度上半期の補正予算状況		
1 一般会計	．．．．．	11
2 宇城ふるさと市町村圏基金特別会計	．．．．．	12
IV 令和２年度上半期の予算執行状況		
1 一般会計		
（１）歳入	．．．．．	13
（２）歳出〔現年分〕	．．．．．	13
（３）歳出〔繰越分〕	．．．．．	14
2 宇城ふるさと市町村圏基金特別会計		
（１）歳入	．．．．．	14
（２）歳出	．．．．．	14
V 広域連合債及び一時借入金の状況		
1 広域連合債の状況	．．．．．	15
2 一時借入金の状況	．．．．．	16
VI 宇城広域連合財産の状況		
1 土地、建物及び重要物品	．．．．．	17
2 基金	．．．．．	20

（注）各項目の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は、合計と合致しないことがあります。

I 令和元年度決算の概要

1 一般会計

(1) 決算収支



令和元年度一般会計の決算収支は、前年度と比較すると歳入で 10 億 5,341 万円、歳出で 10 億 5,673 万円増加しました。歳入から歳出を単純に引いた形式収支は 2 億 6,927 万円の黒字となりましたが、汚泥再生処理センター更新事業や消防本部・北消防署耐震改築整備事業など令和元年度予算を翌年度に繰り越して使う財源が 9,750 万円あるため、この財源を形式収支から差し引いた実質的な差引額は 1 億 7,177 万円となりました。

[決算収支の推移]

(単位: 千円、%)

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	比較 [対前年度]	
				増減	伸び率
歳入総額 (A)	3,485,245	3,569,203	4,622,615	1,053,412	22.8
歳出総額 (B)	3,180,082	3,296,613	4,353,344	1,056,731	24.3
形式収支 【 (A) - (B) 】 (C)	305,163	272,590	269,271	△ 3,319	△ 1.2
翌年度に繰り越すべき財源 (D)	44,077	73,740	97,498	23,758	24.4
実質収支 【 (C) - (D) 】 (E)	261,086	198,850	171,773	△ 27,077	△ 15.8

(2) 歳入決算の内訳

令和元年度一般会計歳入決算の状況を見てみると、「国庫支出金（循環型社会形成推進交付金）」の増額要因となった汚泥再生処理センター更新事業をはじめ、消防本部・北消防署耐震改築整備事業やリサイクルプラザ漏水改修事業に伴い、関係市町からの「負担金」や新たな借金である「広域連合債」は大幅に増額となりました。

❶ 一般財源・・・使途が特定されておらず、どのような経費にも使用できるもの

（例）分担金及び負担金

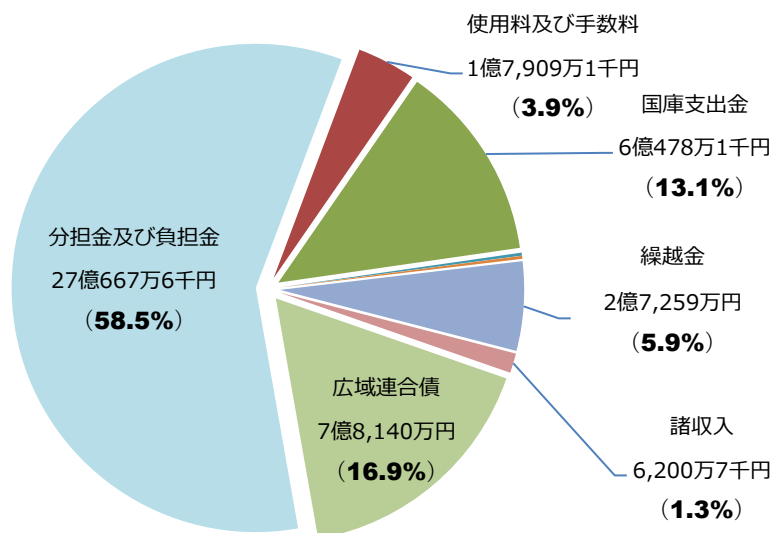
❷ 特定財源・・・施設整備に係る国からの補助金など、使途が特定されているもの

（例）使用料及び手数料、国庫支出金、県支出金、広域連合債など

[一般会計歳入決算]

(単位：千円、%)

款	令和元年度		平成30年度		比較
	決算額(A)	構成比	決算額(B)	構成比	(A)-(B)
1 分担金及び負担金	2,706,676	58.5	2,539,104	71.1	167,572
2 使用料及び手数料	179,091	3.9	169,790	4.8	9,301
3 国庫支出金	604,781	13.1	114,342	3.2	490,439
4 県支出金	275	0.0	225	0.0	50
5 財産収入	7,444	0.2	8,462	0.2	△ 1,018
6 繰入金	8,351	0.2	19,426	0.2	△ 11,075
7 繰越金	272,590	5.9	305,163	8.5	△ 32,573
8 諸収入	62,007	1.3	51,891	1.5	10,116
9 広域連合債	781,400	16.9	360,800	10.1	420,600
歳入合計	4,622,615	100.0	3,569,203	100.0	1,053,412



[関係市町等負担金]

(単位：千円)

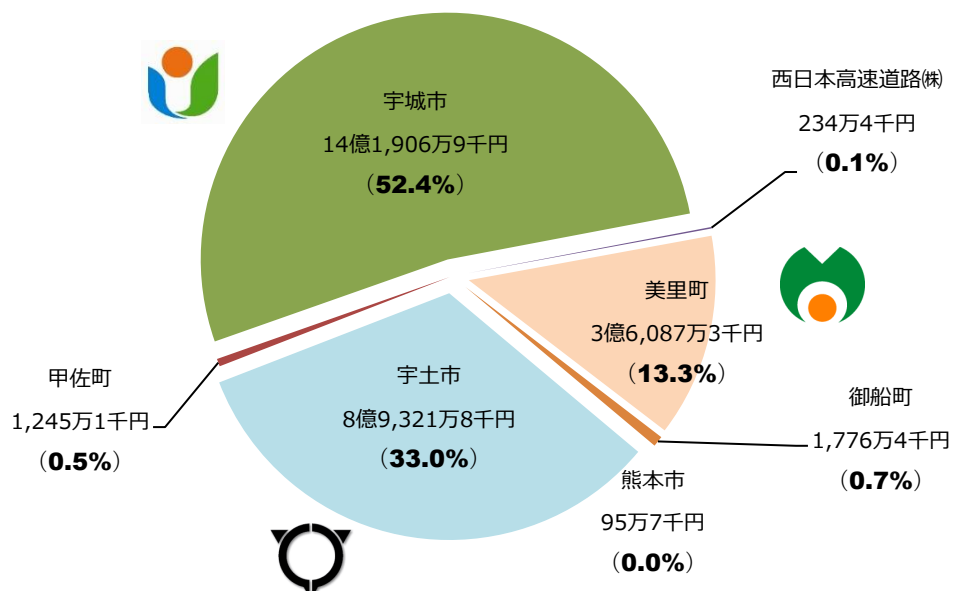
区 分	総 務 費 負 担 金	民 生 費 負 担 金	衛 生 費 負 担 金	消 防 費 負 担 金	合 計
宇 土 市	40,143	11,001	296,262	545,812	893,218
宇 城 市	69,017	18,530	534,053	797,469	1,419,069
美 里 町	19,231	5,475	144,425	191,742	360,873
御 船 町 甲 佐 町 衛 生 施 設 組 合			30,215		30,215
御 船 町			17,764		17,764
甲 佐 町			12,451		12,451
熊 本 市			957		957
西 日 本 高 速 道 路 (株)				2,344	2,344
合 計	128,391	35,006	1,005,912	1,537,367	2,706,676



関係市町負担金の割合は？・・『宇城広域連合規約』に規定されています。

[負担割合の一例]

区 分	関係市町	負担割合
し尿処理施設管理運営等経費	宇土市・宇城市・美里町	均等割 10%、搬入量割 90%
消防に関する経費	宇土市・宇城市・美里町	関係市町の普通交付税に係る基準財政需要額のうち、常備消防費に相当する額を基準として算出



(3) 歳出決算の内訳

歳出はその用途により「目的別」と「性質別」に分けることができます。

① 目的別経費

「どのような目的に使うか」という分類です

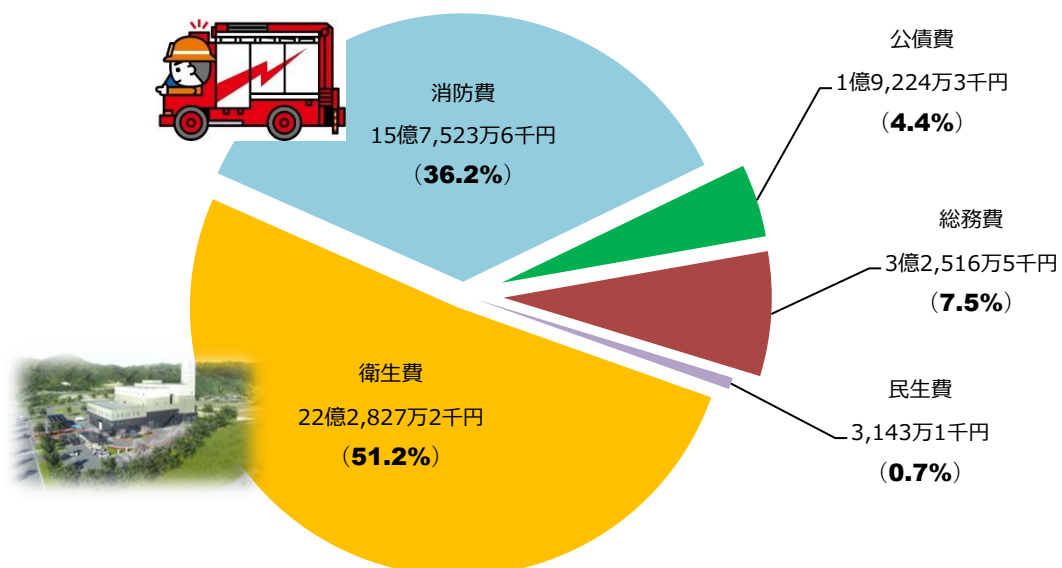
(例) ごみ処理など清掃関係に使用する経費は「衛生費」、消防関係に使用する経費は「消防費」など

構成割合を見てみると、汚泥再生処理センター及びエネルギー回収型廃棄物処理施設の整備事業や火葬場管理事業などに係る「衛生費」が全体の51.2%と前年度に引き続き最も高く（対前年度+8億858万円）、次いで熊本県宇城地域の防災拠点となる消防本部・北消防署耐震改築整備事業や南消防署救助工作車購入事業など災害に強い安心・安全なまちづくりを推進する「消防費」が36.2%（対前年度+2億9,462万円）となっています。

[一般会計歳出決算・目的別]

(単位：千円、%)

款	令和元年度		平成30年度		比較 (A)-(B)
	決算額(A)	構成比	決算額(B)	構成比	
1 議会費	997	0.0	1,274	0.0	△ 277
2 総務費	325,165	7.5	376,580	11.4	△ 51,415
3 民生費	31,431	0.7	32,555	1.0	△ 1,124
4 衛生費	2,228,272	51.2	1,419,691	43.1	808,581
5 消防費	1,575,236	36.2	1,280,618	38.9	294,618
6 公債費	192,243	4.4	185,895	5.6	6,348
7 予備費	0	0.0	0	0.0	0
歳出合計	4,353,344	100.0	3,296,613	100.0	1,056,731



② 性質別経費

「どのような性質の経費なのか」という分類です

(例) 職員給与などは「人件費」、物品やコピー用紙などの購入費は「物件費」、広域連合債(借金)の返済に要する経費は「公債費」など

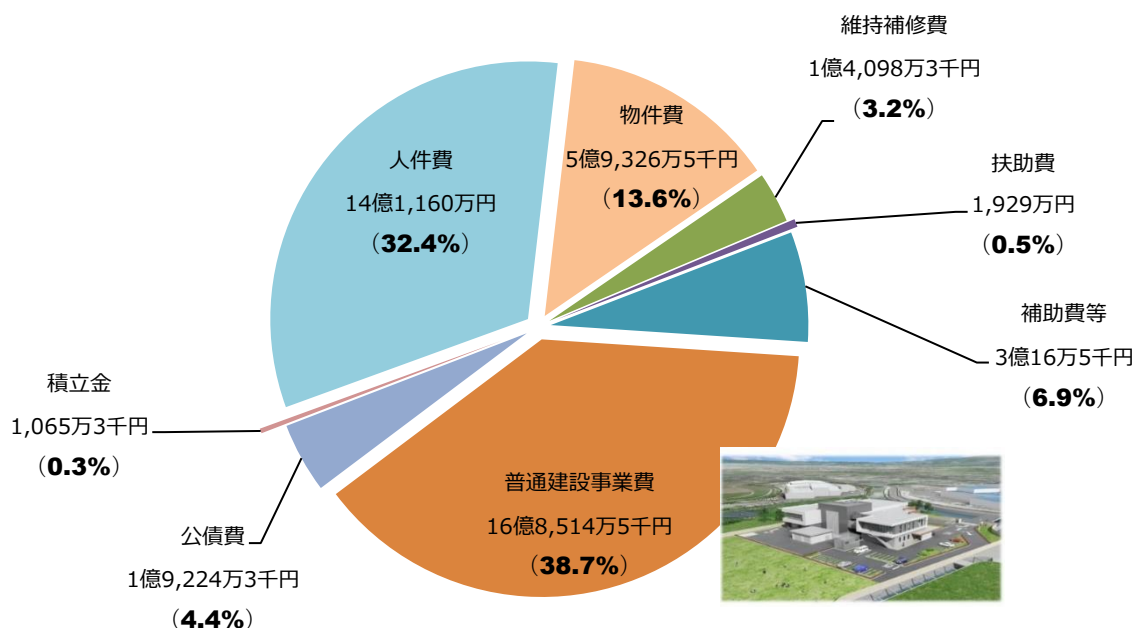
構成割合を見てみると、汚泥再生処理センター整備事業や消防本部・北消防署耐震改築整備事業を進めたことで、「普通建設事業費」が全体の38.7%を占め、前年度から10億7,983万円の大幅な増額となっています。次いで「人件費」が前年度から3,173万円増額の32.4%で、これは退職手当組合負担金や再任用職員給料の増が主な要因です。

【一般会計歳出決算・性質別】

(単位：千円、%)

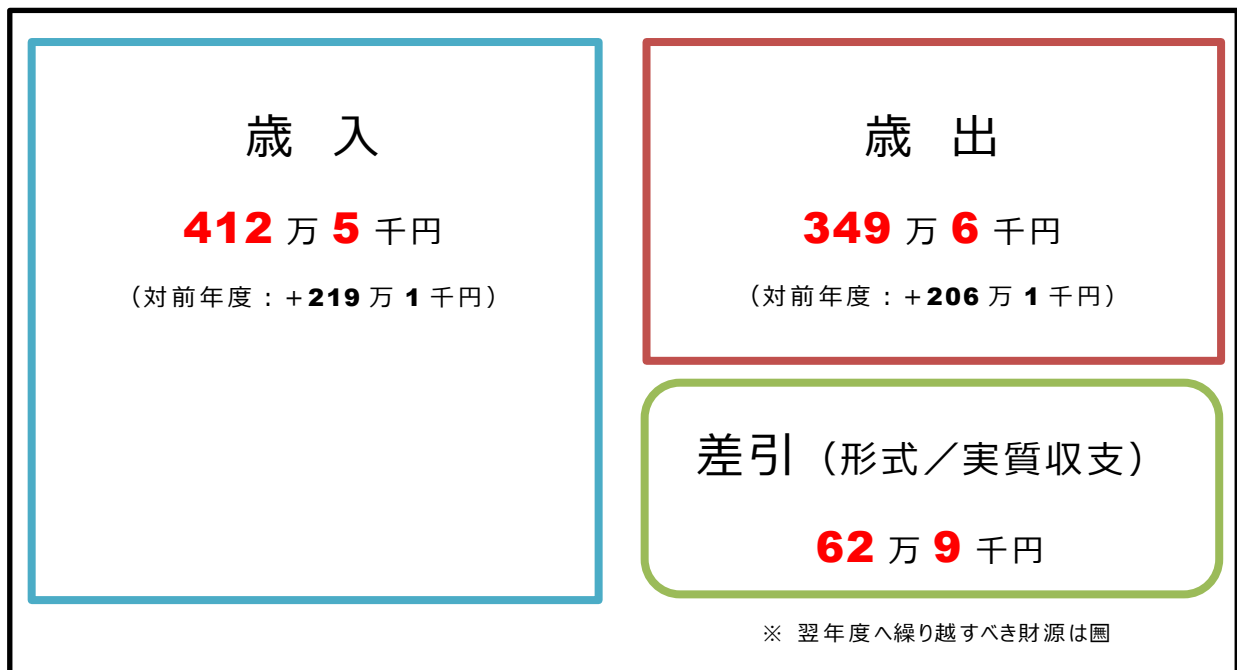
区分	令和元年度		平成30年度		比較 (A)-(B)
	決算額(A)	構成比	決算額(B)	構成比	
1 人件費	1,411,600	32.4	1,379,870	41.8	31,730
2 物件費	593,265	13.6	581,887	17.7	11,378
3 維持補修費	140,983	3.2	166,993	5.1	△ 26,010
4 扶助費	19,290	0.5	18,925	0.6	365
5 補助費等	300,165	6.9	347,084	10.5	△ 46,919
6 普通建設事業費	1,685,145	38.7	605,320	18.4	1,079,825
7 公債費	192,243	4.4	185,895	5.6	6,348
8 積立金	10,653	0.3	10,639	0.3	14
歳出合計	4,353,344	100.0	3,296,613	100.0	1,056,731

※ 上記の金額は、地方財政状況調査表の数値です。



2 宇城ふるさと市町村圏基金特別会計

(1) 決算収支



令和元年度宇城ふるさと市町村圏基金特別会計の決算収支は、前年度と比較すると歳入で 219 万円、歳出で 206 万円増加し、歳入から歳出を単純に引いた形式収支は 63 万円の黒字となりました。なお、令和元年度予算を翌年度に繰り越して使う財源はありません。

[決算収支の推移]

(単位：千円、%)

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	比較 [対前年度]	
				増減	伸び率
歳 入 総 額 (A)	1,572	1,934	4,125	2,191	53.1
歳 出 総 額 (B)	1,293	1,435	3,496	2,061	59.0
形 式 収 支 【 (A) - (B) 】 (C)	279	499	629	130	20.7
翌年度に繰り越すべき財源 (D)	0	0	0	0	—
実 質 収 支 【 (C) - (D) 】 (E)	279	499	629	130	20.7

結婚活動支援事業

～婚活登録者募集中～

STEP1

会員登録
(2年有効)

STEP2

未婚センター
を利用

男性の方の公開プロフィールの閲覧ができます。
お見合いを希望される場合は、相親御方がマッチング
のお手伝いをします。

AS氏

①プロフィール掲載
②お見合い希望
③お見合い希望
④お見合い希望

婚活活動
支援センター

BS氏

①プロフィール掲載
②お見合い希望
③お見合い希望
④お見合い希望

●準備するもの

●登録条件

●申込場所

●開所日時

●利用料等

①写真(履歴書サイズ)3枚 ②印鑑 ③本人確認書類(運転免許証等)の写し

①男女ともに結婚を希望する20歳以上の人

②結婚を希望していない人

③女性は、関係市町(宇土市・宇城市・奥平町)に住所がある人、または勤務している人

④宗教活動、政治活動、営利活動が目的でない人

⑤専ら会員者ではない人

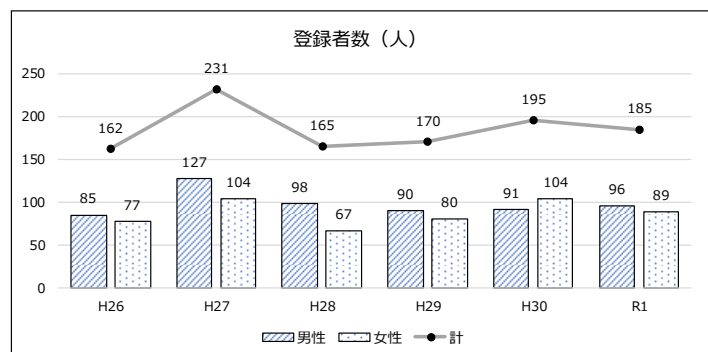
宇城広域連合事務局 2 階 結婚活動支援センター

毎週日曜日(10:00～17:00)・水曜日(13:00～19:00) ※年末年始を除く

利用申込料、相談料、お見合い料、結婚料等の料金は発生しません

☎ 結婚活動支援センター
(宇城広域連合事務局2階)

住所 〒869-0532 宇城市松橋町久員 396-2
TEL:0964-32-4144 / 080-1720-7652 FAX:0964-32-4152



(2) 歳入決算の内訳

令和元年度宇城ふるさと市町村圏基金特別会計歳入決算の状況を見てみると、債権の運用開始により「財産収入」が増額となりました。

[宇城ふるさと市町村圏基金特別会計歳入決算]

(単位：千円、%)

款	令和元年度		平成30年度		比較 (A)-(B)
	決算額(A)	構成比	決算額(B)	構成比	
1 財産収入	3,607	87.4	1,178	60.9	2,429
2 繰越金	499	12.1	279	14.5	220
3 繰入金	0	0.0	463	23.9	△ 463
4 諸収入	19	0.5	14	0.7	5
歳入合計	4,125	100.0	1,934	100.0	2,191

(3) 歳出決算の内訳

歳出決算の状況を見てみると、結婚活動支援相談委員の増員（1名）や結婚活動支援センター開所日時変更等に伴う相談委員報酬の改定に伴い「人件費」が増額となりました。

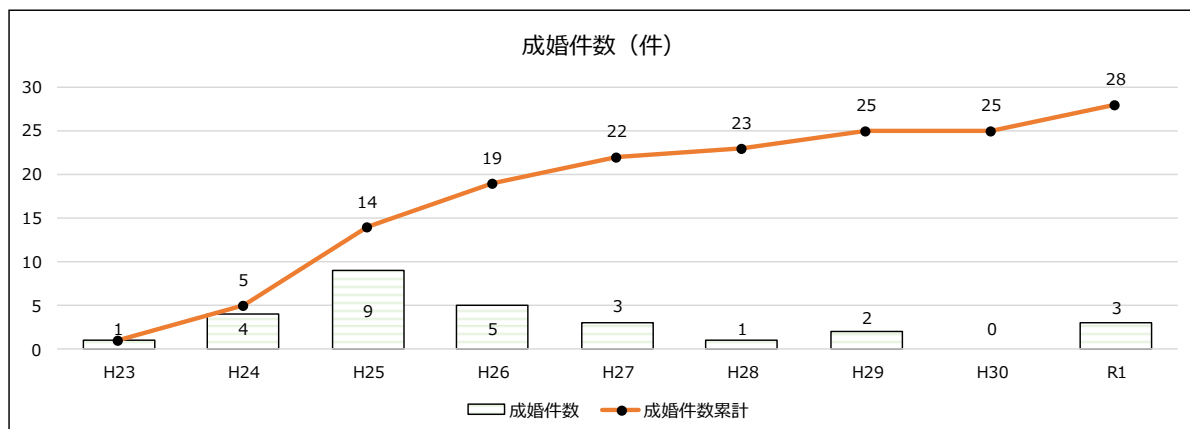
また、婚活イベントやセミナーの企画提案等に係る委託やセミナー時に使用するプロジェクター等の備品購入により「物件費」も前年度から81万円の増額となっています。

[宇城ふるさと市町村圏基金特別会計歳出決算・性質別]

(単位：千円、%)

款	令和元年度		平成30年度		比較 (A)-(B)
	決算額(A)	構成比	決算額(B)	構成比	
1 人件費	1,620	46.3	1,070	74.6	550
2 物件費	1,084	31.0	276	19.2	808
3 補助費等	20	0.6	89	6.2	△ 69
4 積立金	772	22.1	0	0.0	772
歳出合計	3,496	100.0	1,435	100.0	2,061

※ 上記の金額は、地方財政状況調査表の数値です。



Ⅱ 統一的な基準による令和元年度財務書類

1 財務書類

地方公共団体における予算・決算に係る会計制度は、予算の適正・確実な執行を図るという観点から、確定性・客観性・透明性に優れた単式簿記による現金主義会計が採用されています。この方式は、予算執行状況を把握するのに適している一方、資産・負債のストック情報や減価償却費等のコスト情報の把握ができないといった課題がありました。

そこで、平成27年1月に「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」（総務大臣通知）が示され、固定資産台帳の整備と複式簿記による発生主義会計の導入を前提とする「統一的な基準」による財務書類の作成が要請されました。

本連合でも、この要請に基づき、平成28年度決算から統一的な基準による財務書類を作成し、公表しています。

令和元年度普通会計（一般会計＋特別会計）決算に係る財務書類は以下のとおりです。

貸借対照表

令和2年3月31日現在 (単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
固定資産	8,895	固定負債	2,161
有形固定資産	5,940	地方債	2,161
事業用資産	5,389	長期未払金	0
土地	586	退職手当引当金	0
立木竹	0		
建物	2,328		
工作物	480		
建設仮勘定	1,995	流動負債	302
インフラ資産	335	1年以内償還地方債	220
土地	0	未払金	0
建物	0	賞与等引当金	82
工作物	335	預り金	0
建設仮勘定	0		
物品	216		
投資その他の資産	2,955	負債合計	2,463
出資金	0	純資産の部	
基金	2,955		
その他	0		
流動資産	278		
現金預金	270		
基金	8	純資産合計	6,710
その他	0		
資産合計	9,173	負債及び純資産合計	9,173

行政コスト計算書&純資産変動計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日 (単位：百万円)

科目	金額
経常費用	2,846
業務費用	2,408
人件費	1,306
職員給与費	1,183
賞与等引当金繰入額	82
その他	40
物件費等	1,090
物件費	598
維持補修費	141
減価償却費	351
その他の業務費用	12
支払利息	8
その他	4
移転費用	438
補助金等	237
その他	201
経常収益	477
使用料及び手数料	179
その他	298
純経常行政コスト	2,369
臨時損失	0
臨時利益	0
純行政コスト	2,369
財源（税収・国庫補助金等）	3,312
本年度差額	943
その他	18
前年度末純資産残高	5,749
本年度末純資産残高	6,710

資産の部

- ① 有形固定資産 ・ ・ 59 億 3,983 万円 **【対前年度：+13 億 3,569 万円、+29.0%】**
- 汚泥再生処理センター更新事業（建設工事費・監理業務委託料）や消防本部・北消防署耐震改築事業（土地購入費）の増など
- ② 流動資産 ・ ・ 2 億 7,838 万円 **【対前年度：△1 億 1,530 万円、△4.1%】**
- 消防職員に係る退職手当組合特別負担金へ基金を充当したことに伴う「財政調整基金」の減など

負債の部

- ① 固定負債 ・ ・ 21 億 6,122 万円 **【対前年度：+5 億 6,195 万円、+35.1%】**
- 汚泥再生処理センター更新事業や橋梁架け替え事業、宇城クリーンセンターリサイクルプラザ漏水改修事業に係る「一般廃棄物処理事業債」など償還額を上回る新規発行があったことに伴う「地方債」の増など
- ② 流動負債 ・ ・ 3 億 151 万円 **【対前年度：+3,682 万円、+13.9%】**
- 平成 30 年度及び令和元年度に借り入れた「一般廃棄物処理事業債（汚泥再生処理センター更新事業や橋梁架け替え事業など）」の償還開始に伴う「1 年内償還予定地方債」の増など

経常費用

- ① 業務費用 ・ ・ 24 億 808 万円 **【対前年度：+1,494 万円、+0.6%】**
- 職員の児童手当を令和元年度から職員給与費へ計上したことに伴う「人件費」の増
※ 平成 30 年度は「移転費用（社会保障給付）」へ計上
- ② 移転費用 ・ ・ 4 億 3,783 万円 **【対前年度：△4,638 万円、△9.6%】**
- 関係市町派遣職員等負担金の増額（対象職員 8 人→10 人）に伴う「補助金等」の増
 - 関係市町決算剰余金返還金が対前年度 6,223 万円の減額により「その他」の減

経常収益

- ① 使用料及び手数料 ・ ・ 1 億 7,909 万円 **【対前年度：+685 万円、+4.0%】**
- ごみ処理手数料や火葬場使用料の増
- ② その他 ・ ・ 2 億 9,754 万円 **【対前年度：+2 億 3,602 万円、+483.6%】**
- 職員数の減などの影響による退職手当債務の減額及び退職手当組合の積立額が退職手当債務を超過しているため、令和元年度から収益として本項目へ計上したことに伴う増
※ 平成 30 年度は収益扱いではなく、純資産変動計算書（無償所管換等）で調整

2 財務書類から算出される指標

統一的な基準による財務書類の作成状況等に関する調査（総務省）によると、令和2年3月末時点で一般会計等財務書類（平成30年度決算）を「作成済み」または「作成中」の団体は98.1%となっていることから、全国的に公会計の整備は進んでいます。

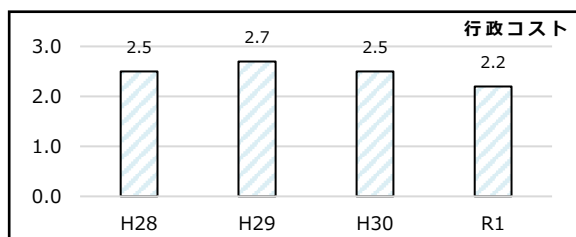
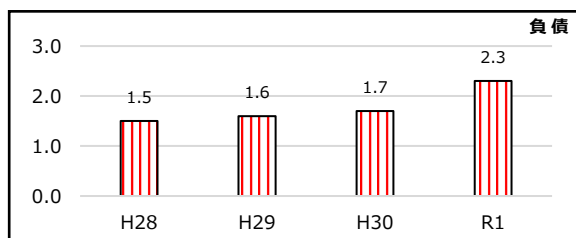
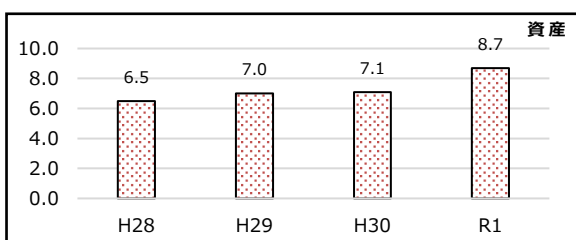
しかし、財務書類が十分に活用されているとは言い難く、指標の分析を行った（52.1%）、公共施設の見直し等を行う際の判断材料とした（4.9%）団体は少ない結果となりました。

本連合においても、資産管理や予算編成等へ効果的に活用していくことで、より健全で質の高い行財政運営を目指していきます。

住民一人当たり

資産額・負債額・行政コスト [万円]

= 各項目総額 ÷ 市町住民基本台帳人口（1月1日現在）

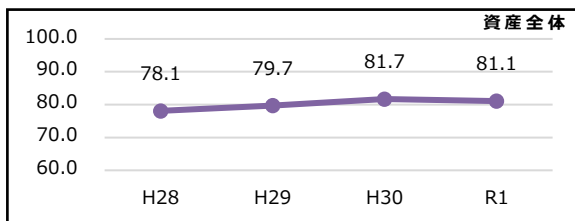
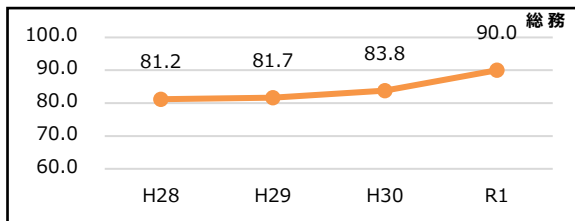
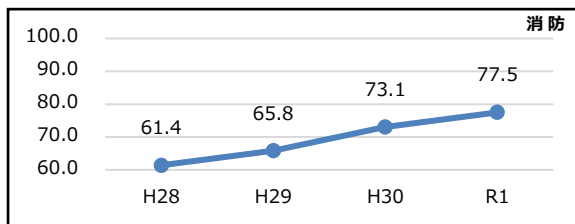
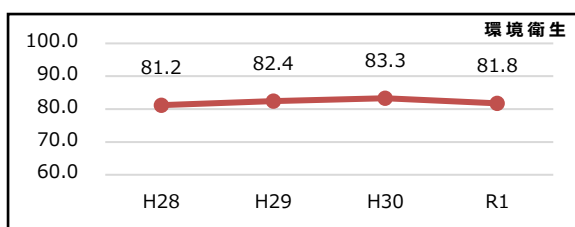


令和元年度は、汚泥再生処理センター更新事業や消防本部・北消防署耐震改築事業が進み、新しく資産を形成したことから住民一人当たり資産額は前年度に比べて1.6万円増加しています。しかし、その財源として多額の地方債を発行したことから、住民一人当たり負債額は前年度に比べて0.6万円増加しており、エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業が本格化する次年度以降も増加する見込みです。

住民一人当たり行政コストは、経常収益の増額（理由はP9参照）により、前年度に比べて0.3万円減少しています。

行政目的別有形固定資産減価償却率 [%]

= 減価償却累計額 ÷ (有形固定資産合計 - 土地等の非償却資産 + 減価償却累計額)



法定耐用年数に対してどれくらい老朽化が進んでいるのかが分かります。「環境衛生」は、汚泥再生処理センター橋梁架け替え事業や宇城クリーンセンターリサイクルプラザ漏水改修事業が完了したため、81.8%に改善（前年度比1.5ポイント減）したものの、資産全体の老朽化比率は80%を超えているため、大規模改修や建替えによる対策が必要な時期にきています。

Ⅲ 令和２年度上半期の補正予算状況

1 一般会計

一般会計予算においては、上半期（９月末まで）の補正予算はありませんでした。

[一般会計に係る上半期の補正状況]

(単位：千円)

会計区分	当初予算	５月補正 (第１回臨時会)	７月補正 (第２回臨時会)	現計予算 (９月末)
一般会計	6,655,367	0	0	6,655,367

[歳入]

(単位：千円)

区分	当初予算	５月補正 (第１回臨時会)	７月補正 (第２回臨時会)	現計予算 (９月末)
1 分担金及び負担金	3,309,947	0	0	3,309,947
2 使用料及び手数料	143,318	0	0	143,318
3 国庫支出金	134,172	0	0	134,172
4 県支出金	271	0	0	271
5 財産収入	6,003	0	0	6,003
6 繰入金	8,380	0	0	8,380
7 繰越金	1	0	0	1
8 諸収入	69,775	0	0	69,775
9 広域連合債	2,983,500	0	0	2,983,500
歳入合計	6,655,367	0	0	6,655,367

[歳出]

(単位：千円)

区分	当初予算	５月補正 (第１回臨時会)	７月補正 (第２回臨時会)	現計予算 (９月末)
1 議会費	1,670	0	0	1,670
2 総務費	141,048	0	0	141,048
3 民生費	36,151	0	0	36,151
4 衛生費	1,937,514	0	0	1,937,514
5 消防費	4,281,067	0	0	4,281,067
6 公債費	229,917	0	0	229,917
7 予備費	28,000	0	0	28,000
歳出合計	6,655,367	0	0	6,655,367

2 宇城ふるさと市町村圏基金特別会計

宇城ふるさと市町村圏基金特別会計予算においては、上半期（９月末まで）の補正予算はありませんでした。

[宇城ふるさと市町村圏基金特別会計に係る上半期の補正状況]

(単位：千円)

会計区分	当初予算	５月補正 (第１回臨時会)	７月補正 (第２回臨時会)	現計予算 (９月末)
宇城ふるさと市町村圏基金特別会計	9,439	0	0	9,439

[歳入]

(単位：千円)

区分	当初予算	５月補正 (第１回臨時会)	７月補正 (第２回臨時会)	現計予算 (９月末)
1 財産収入	4,462	0	0	4,462
2 繰越金	1	0	0	1
3 繰入金	4,955	0	0	4,955
4 諸収入	21	0	0	21
歳入合計	9,439	0	0	9,439

[歳出]

(単位：千円)

区分	当初予算	５月補正 (第１回臨時会)	７月補正 (第２回臨時会)	現計予算 (９月末)
1 総務費	9,389	0	0	9,389
2 予備費	50	0	0	50
歳出合計	9,439	0	0	9,439

IV 令和2年度上半期の予算執行状況

1 一般会計

(1) 歳入 …… 収入率 = 24.2% (対前年度比△1.5ポイント)

歳入予算科目のうち、関係市町等からの「負担金」や「使用料及び手数料」は概ね半分の収入状況となっていますが、「国庫支出金」や「広域連合債」は9月末における収入率が毎年度低い状況となっています。これは、建設事業の実績報告を年度末に実施することが多く、併せて補助金の交付請求や地方債の借入れ手続きを同時期に行うためです。

(単位：千円、%)

款	予算現額 (A)	9月30日現在 収入済額(B)	3月31日現在 収入済額	差引額 (A) - (B)	収入率 (B) / (A)
1 分担金及び負担金	3,309,947	1,515,818		1,794,129	45.8
2 使用料及び手数料	143,318	80,008		63,310	55.8
3 国庫支出金	134,172	0		134,172	0.0
4 県支出金	271	0		271	0.0
5 財産収入	6,003	1,709		4,294	28.5
6 繰入金	8,380	0		8,380	0.0
7 繰越金	1	0		1	0.0
8 諸収入	69,775	13,397		56,378	19.2
9 広域連合債	2,983,500	0		2,983,500	0.0
歳入合計	6,655,367	1,610,932		5,044,435	24.2

※ 上記の金額には、繰越明許費など前年度からの繰越予算は含まれておりません。

(2) 歳出〔現年分〕 …… 執行率 = 16.3% (対前年度比△1.7ポイント)

歳出予算科目のうち、消防本部・北消防署耐震改築事業や汚泥再生処理センター整備など多額の普通建設事業費を予算化している「消防費」及び「衛生費」の執行率が、他の科目に比べ低い数値となっています。

(単位：千円、%)

款	予算現額 (A)	9月30日現在 支出済額(B)	3月31日現在 支出済額	予算残額 (A) - (B)	執行率 (B) / (A)
1 議会費	1,670	176		1,494	10.5
2 総務費	141,048	28,530		112,518	20.2
3 民生費	36,151	10,227		25,924	28.3
4 衛生費	1,937,564	284,096		1,653,468	14.7
5 消防費	4,281,067	656,611		3,624,456	15.3
6 公債費	229,917	106,499		123,418	46.3
7 予備費	27,950	0		27,950	0.0
歳出合計	6,655,367	1,086,139		5,569,228	16.3

※ 上記の金額には、繰越明許費など前年度からの繰越予算は含まれておりません。

(3) 歳出〔繰越分〕 …… 執行率 = 3.5%

令和2年度の繰越事業に係る執行率の内訳は、「エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業」=100%（予算現額 5,064 千円／支出済額 5,064 千円）、「汚泥再生処理センター更新事業」=0.0%（1,391,820 千円／0 千円）、「三分署（網田・豊野・小川）非常用電源設備整備事業」=89.7%（34,600 千円／31,046 千円）、「消防本部・北消防署耐震改築整備事業」=23.7%（71,068 千円／16,848 千円）となっています。

(単位：千円、%)

款	予算現額 (A)	9月30日現在 支出済額(B)	3月31日現在 支出済額	予算残額 (A) - (B)	執行率 (B) / (A)
4 衛生費	1,396,884	5,064		1,391,820	0.4
5 消防費	105,668	47,894		57,774	45.3
歳出合計	1,502,552	52,958		1,449,594	3.5

2 宇城ふるさと市町村圏基金特別会計

(1) 歳入 …… 収入率 = 23.7% (対前年度比△9.9ポイント)

歳入予算については、平成30年度に開始した債券運用（国債・政府保証債など）に係る上半期分の利子収入のみで、繰越金は決算認定後の11月、基金からの繰入金は観光案内板更新事業費確定後の年度末に収入する予定です。

(単位：千円、%)

款	予算現額 (A)	9月30日現在 収入済額(B)	3月31日現在 収入済額	差引額 (A) - (B)	収入率 (B) / (A)
1 財産収入	4,462	2,234		2,228	50.1
2 繰越金	1	0		1	0.0
3 繰入金	4,955	0		4,955	0.0
4 諸収入	21	0		21	0.0
歳入合計	9,439	2,234		7,205	23.7

(2) 歳出 …… 執行率 = 2.6% (対前年度比△7.4ポイント)

歳出予算については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため結婚活動支援事業を一時中断していること、また平成10年・11年に設置された管内8基の観光案内板の情報更新が年度末に完了予定のため、執行率は低くなっています。

(単位：千円、%)

款	予算現額 (A)	9月30日現在 支出済額(B)	3月31日現在 支出済額	予算残額 (A) - (B)	執行率 (B) / (A)
1 総務費	9,389	245		9,144	2.6
2 予備費	50	0		50	0.0
歳出合計	9,439	245		9,194	2.6

V 広域連合債及び一時借入金の状況

1 広域連合債の状況

上半期の状況は、新たな借入れを行わず、今年度償還予定額の約半分を返済したところです。下半期は、各種事業の完了に伴う借入れを年度末または出納整理期間（令和3年4月から5月まで）に予定しています。

令和2年9月末の広域連合債残高は22億7,798万円で、汚泥再生処理センター更新事業や橋梁架け替え事業、龍燈苑火葬場建設事業などに伴う「衛生債」が71.6%（対前年度＋5億3,124万円）、次いで消防救急デジタル無線整備事業、救助工作車購入事業などに伴う「消防債」が28.1%（対前年度＋5,841万円）となっています。また、資金の借入先は、財政融資資金が49.2%と最も高くなっています。

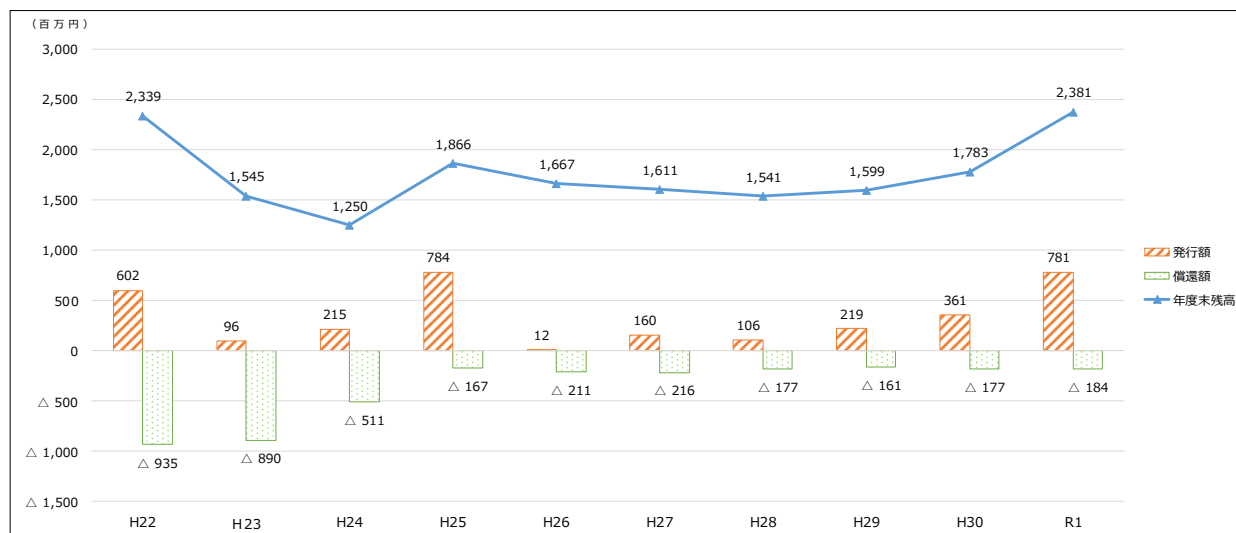
今後は、エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業（衛生債）や消防本部・北消防署耐震改築整備事業（消防債）などの大型事業に対して、償還額を上回る新たな借入れを行うため、広域連合債残高はさらに増加する見込みです。したがって、国の財政措置が有利な地方債を選択するなど、関係市町の将来負担が大きくならないような計画的な借入れが重要となります。

〔目的別広域連合債現在高〕

（単位：千円、％）

区 分	令和元年度末 現在高 (A)	令和2年度上半期		令和2年9月末 現在高 (A) + (B) - (C)	構成比
		借入額 (B)	償還元金 (C)		
1 総 務 債	1,128	0	187	941	0.0
2 民 生 債	0	0	0	0	0.0
3 衛 生 債	1,689,904	0	59,389	1,630,515	71.6
龍 燈 苑	248,242	0	20,208	228,034	10.0
寂 静 の 里	0	0	0	0	0.0
宇土清掃センター	162,688	0	13,004	149,684	6.6
宇城クリーンセンター	229,332	0	8,901	220,431	9.7
浄 化 セ ン タ ー	1,049,642	0	17,276	1,032,366	45.3
4 消 防 債	680,562	0	40,936	639,626	28.1
5 災 害 復 旧 債	9,076	0	2,175	6,901	0.3
事 務 局	150	0	38	112	0.0
龍 燈 苑	200	0	50	150	0.0
寂 静 の 里	300	0	75	225	0.0
宇土清掃センター	1,475	0	275	1,200	0.1
宇城クリーンセンター	2,250	0	562	1,688	0.1
浄 化 セ ン タ ー	550	0	137	413	0.0
常 備 消 防	4,151	0	1,038	3,113	0.1
合 計	2,380,670	0	102,687	2,277,983	100.0

[広域連合債の発行額及び償還額の状況]



2 一時借入金の状況



一時借入金とは？・・・歳計現金に不足を生じた場合に、その期間の資金繰りのために金融機関などから一時的にお金を借り入れること。

※ 一時借入金の最高額（限度額）は、その年度の予算によって定める

一般会計において、令和2年3月に4億円の借入れを行いました、翌月の4月中に全額返済しています。なお、令和2年度の新たな一時借入金はありません。

(単位：百万円)

(単位：百万円)						
会計区分	最高額 (限度額) ※	令和元年度	令和2年度			令和2年 9月末残高
		前年度末残高 (R2. 3. 31)	令和2年 4月末残高	令和2年5月以降の累計		
				借入額	償還額	
一 般 会 計	2,500	400	0	0	0	0

※ 一時借入における最高額は、借入現在高の上限額であり、当該年度中の数回にわたる借入額の累計ではありません

VI 宇城広域連合財産の状況

1 土地、建物及び重要物品

[土 地]

(単位：㎡)

区 分	令和2年3月31日現在	令和2年9月30日現在	増 減	備 考
【 行 政 財 産 】	139,247.63	139,205.63	△ 42.00	
連 合 事 務 局	1,646.03	1,646.03	0.00	
龍 燈 苑 火 葬 場	15,794.00	15,794.00	0.00	
寂 静 の 里 火 葬 場	4,403.00	4,403.00	0.00	
宇 土 清 掃 セ ン タ ー	32,449.95	32,449.95	0.00	
ご み 焼 却 施 設	22,662.95	22,662.95	0.00	
最 終 処 分 場	9,787.00	9,787.00	0.00	
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー	75,298.65	75,256.65	△ 42.00	
ご み 処 理 施 設	73,353.65	73,353.65	0.00	
最 終 処 分 場	1,945.00	1,903.00	△ 42.00	砥用地区農村地域防災減災工事のため熊本県へ売却
し 尿 処 理 場	9,656.00	9,656.00	0.00	
【 普 通 財 産 】	12,402.22	12,402.22	0.00	
寂 静 の 里 火 葬 場	12,402.22	12,402.22	0.00	
寂 静 の 里 火 葬 場	3,930.22	3,930.22	0.00	
旧 ご み 処 理 場 跡 地	8,472.00	8,472.00	0.00	
合 計	151,649.85	151,607.85	△ 42.00	

[建 物]

(単位：㎡)

区 分	令和2年3月31日現在	令和2年9月30日現在	増 減	備 考
【 行 政 財 産 】	25,813.15	25,813.15	0.00	
連 合 事 務 局	580.85	580.85	0.00	
本 庁 舎	549.27	549.27	0.00	
倉 庫 ・ 物 置	31.58	31.58	0.00	
龍 燈 苑 火 葬 場	2,224.43	2,224.43	0.00	
寂 静 の 里 火 葬 場	1,226.95	1,226.95	0.00	
火 葬 場	1,172.77	1,172.77	0.00	
ポ ン プ 室	6.18	6.18	0.00	
車 庫	48.00	48.00	0.00	
宇 土 清 掃 セ ン タ ー	3,967.69	3,967.69	0.00	
ご み 焼 却 施 設	3,952.89	3,952.89	0.00	
最 終 処 分 場	14.80	14.80	0.00	
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー	9,515.73	9,515.73	0.00	
ご み 処 理 施 設	4,844.63	4,844.63	0.00	
リ サ イ ク ル プ ラ ザ	4,445.13	4,445.13	0.00	
最 終 処 分 場	225.97	225.97	0.00	
し 尿 処 理 場	3,070.13	3,070.13	0.00	
消 防	5,227.37	5,227.37	0.00	
本 部 ・ 北 消 防 署	1,313.46	1,313.46	0.00	
通 信 指 令 棟	296.11	296.11	0.00	
美 里 分 署	260.25	260.25	0.00	
三 角 分 署	299.79	299.79	0.00	
豊 野 分 署	315.50	315.50	0.00	
網 田 分 署	363.50	363.50	0.00	
小 川 分 署	368.65	368.65	0.00	
南 消 防 署	2,010.11	2,010.11	0.00	
【 普 通 財 産 】	33.12	33.12	0.00	
寂 静 の 里 火 葬 場	33.12	33.12	0.00	
事 務 所	33.12	33.12	0.00	
合 計	25,846.27	25,846.27	0.00	

〔物 品〕

(単位：台、個)

区 分	令和2年3月31日現在	令和2年9月30日現在	増 減
連 合 事 務 局	4	4	0
普通乗用自動車	1	1	0
軽乗用自動車	1	1	0
軽貨物自動車	1	1	0
ローパーテーション	1	1	0
龍 燈 苑 火 葬 場	1	1	0
火葬炉予備台車	1	1	0
寂 静 の 里 火 葬 場	1	1	0
軽貨物自動車	1	1	0
宇 土 清 掃 セ ン タ ー	5	5	0
エアラインマスク	1	1	0
剪定くず等破砕機	1	1	0
油圧ショベル	1	1	0
カラープリンタ	1	1	0
フロンガス回収機	1	1	0
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー	14	13	△ 1
普通乗用自動車	1	0	△ 1
普通貨物自動車	1	1	0
ダンプトラック	2	2	0
フォークリフト	2	2	0
ユンボ	1	2	1
タイヤショベル	2	2	0
動力草刈機	1	1	0
真空管処理機	2	1	△ 1
エアシャワー	1	1	0
バキュームクリーナー	1	1	0
浄 化 セ ン タ ー	3	3	0
普通乗用自動車	1	1	0
ダンプトラック	1	1	0
塵芥収集車	1	1	0
消 防	90	87	△ 3
はしご付消防ポンプ自動車	1	1	0
救助工作車	2	2	0
化学消防ポンプ自動車	1	1	0
水槽付消防ポンプ自動車	1	1	0
消防ポンプ自動車	8	8	0
資機材搬送車	3	3	0
高規格救急自動車	10	10	0
査察車	2	2	0
指揮車	1	1	0
指令車	2	2	0
普通乗用自動車	3	3	0
軽貨物自動車	4	4	0
警防資機材等	52	49	△ 3
合 計	118	114	△ 4

2 基金

(単位：千円)

区 分	令和2年3月31日現在	令和2年9月30日現在	増 減
【 一 般 会 計 】	832,212	823,918	△ 8,294
財 政 調 整 基 金	16,835	8,488	△ 8,347
減 債 基 金	0	0	0
龍 燈 苑 火 葬 施 設 整 備 基 金	18,722	18,723	1
寂 静 の 里 火 葬 施 設 整 備 基 金	31,722	31,722	0
寂 静 の 里 火 葬 施 設 整 備 基 金 (御 船 町 甲 佐 町 衛 生 施 設 組 合 含 む)	50,015	50,015	0
宇 土 清 掃 セ ン タ ー 施 設 整 備 基 金	20,560	20,562	2
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー 施 設 整 備 基 金	150,226	150,265	39
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー 施 設 建 設 等 基 金	503,739	503,748	9
浄 化 セ ン タ ー 施 設 整 備 基 金	5,513	5,515	2
消 防 施 設 等 整 備 基 金	34,880	34,880	0
【 特 別 会 計 】	1,016,474	1,016,474	0
宇 城 ふ る さ と 市 町 村 圏 基 金	1,016,474	1,016,474	0
合 計	1,848,686	1,840,392	△ 8,294

○ 発 行 : 宇城広域連合 総務課 企画財政係

○ 住 所 : 〒869-0532

熊本県宇城市松橋町久具 396 番地 2

○ T E L : 0964-32-4144